

(様式1)

個別施策評価調書

主管部	生活環境部	
関係部	-	-
	-	-

基本施策	Ⅲ-9
個別施策	① 環境意識の啓発
個別施策の方向	つくば市は筑波山を有し、歴史や気候風土に育まれた集落や里山の景観が形成されている。これらの特色をいかし、つくばに誇りと愛着を育むよう環境教育を推進するとともに、市民と協働による取組を推進し、市全体の環境意識の啓発に努める。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)										
H27年度	決算	事業費	6,077	人件費	14,160	事業コスト	20,237			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H28年度	決算	事業費	11,695	人件費	12,094	事業コスト	23,789			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源
H29年度	決算	事業費	7,797	人件費	9,071	事業コスト	16,868			
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	29.7%	30.2%	0.5%
25) 環境意識の啓発			

平成28年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	A	施策の成果が確認でき、このまま継続して推進させるべきである。
提言	市民が参画し協働するという仕組みを構築するように努められたい。	

取組概要	<ul style="list-style-type: none"> つくば環境スタイルサポーターズ会員を中心に、ニュースレターやメールマガジン等につくば市に関連した環境関連情報を提供した。また、年間4回程度、自然環境に関する観察会等を行う筑波山自然環境教育事業をはじめとして、グリーンカーテンキャンペーン、小野川・桜川探検隊、エコ・クッキング、茨城県次世代エネルギーパーク見学会、エコプロダクツ見学会など環境に関するイベントを実施し、市民の環境意識高揚を図った。 環境教育等の情報発信・収集機能等を備えた複合拠点の整備について検討を行った。
成果	<p>様々な環境教育・啓発事業を実施できたことで、市民の環境意識向上を図ることができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> サポーターズニュースの発行（各年度4回、計12回） 環境フェスティバルへのブース出店（27年度はサポーターズ会員勧誘、28・29年度はグリーンカーテン用ゴーヤ苗の配布も併せて実施） まつりつくばへブース出店（各年度2日間、計6日間。サポーターズ会員の勧誘） 筑波山自然環境教育事業（参加者累計381人） 小野川探検隊事業及び桜川探検隊事業（参加者累計68人） 桜川稚魚放流及び魚捕り体験事業（参加児童合計678人） エコ・クッキング事業（学校向け参加児童1,948人、サポーターズ向け参加者累計139人） 茨城県次世代エネルギーパーク見学会およびエコプロダクツ見学会（参加者累計213人） 環境教育等の情報発信・収集機能等を備えた複合拠点について基礎調査を行い、検討した結果、施設建設ありきではなく、技術や情報を連携させる人材を確保又は育成することとした。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> つくば環境スタイルサポーターズ会員も順調に増加しており、大きな課題はないと思われる。
改善目標	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、つくば市全体の低炭素化に向けて市民と行政が一体となって取り組めるプログラムを検討し、提案していく。

自己評価（主管部署評価）	
自己評価記述	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き会員加入の促進と会員の自主的な活動の推進を図り、つくば市全体の低炭素化に向けて市民と行政が一体となって取り組めるプログラムについて検討、提案を行っていく。